

修飾語は、どの言葉を くわしくする？

やじるしの先の
言葉をくわしく
しているよ！



ひと もの ばしょ しゅうしよくご
人・物・場所などをくわしくする修飾語

どんな？ だれの？ どの？

例1

あか はな さ
赤い 花が 咲く。



例2

おとうと かばんが あります。



例3

にわ き の
庭の 木が 伸びました。



めいし しゅうしよくご
名詞をくわしくする修飾語を、
れんたい しゅうしよくご
「連体修飾語」といいます。

どう さ しゅうしよくご
動作やようすをくわしくする修飾語

いつ？ どこで？ どこへ？ 何を？
何で？ どのように？ どれくらい？

例1

あさ とり な
朝、 鳥が 鳴く。



例2

にわ とり な
庭で、 鳥が 鳴く。



例3

げんき とり な
元気に、 鳥が 鳴く。



例4

ほん よ
本を わたしは 読む。



じゅうご しゅうしよくご
述語などをくわしくする修飾語を、
れんようしゅうしよくご
「連用修飾語」といいます。

くらべてみよう！

ねこ ね
猫が寝ています。



しろ ねこ まどべ き も ね
白い 猫が、 窓辺で 気持ちよさそうに、 寝ています。

「白い」は
「猫が」を
くわしくしているよ。

「窓辺で」は
「寝ています」を
くわしくしているよ。

「気持ちよさそうに」は
「寝ています」
くわしくしているよ。



たいせつ
大切な
こと！

しゅうしよくご ひり ことば わず
修飾語は、すぐ隣の言葉だけをくわしくするとは限りません。
「どの言葉に意味がつながるか」を考えましょう。

すたペンドリル